

谷口元（たにぐち・はじめ）先生



一般社団法人 日本音楽出版社協会 専務理事

【最終学歴】 米国 Belmont College, Commercial Music 学部卒業

【主要経歴】

- 1986 年 8 月 株式会社エイプリル・ミュージック(現 株式会社ソニー・ミュージックアーティスツ)入社、出版部所属
- 1994 年 10 月 エイベックス・ディー・ディー株式会社(現 エイベックス・エンタテインメント株式会社)入社、
国際業務担当部長
- 1995 年 3 月 株式会社プライム・ディレクション 取締役
- 1996 年 7 月 エイベックス・ディー・ディー株式会社 取締役 国際本部国際部長
- 1998 年 7 月 社団法人音楽出版社協会 理事
- 2001 年 10 月 社団法人日本音楽著作権協会 理事
- 2004 年 6 月 社団法人音楽出版社協会 常務理事
- 2005 年 4 月 エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社 取締役 国際戦略室長 兼 知財戦略室長
- 2009 年 11 月 社団法人音楽出版社協会 理事副会長
- 2010 年 4 月 エイベックス・ミュージック・パブリッシング株式会社 代表取締役社長
- 2010 年 6 月 社団法人音楽出版社協会(現 一般社団法人日本音楽出版社協会) 会長
- 2010 年 9 月 財団法人音楽産業・文化振興財団(現 一般財団法人音楽産業・文化振興財団) 副理事長
- 2014 年 7 月 一般社団法人日本音楽出版社協会 専務理事

《講義概要》

本講座の寄附団体の一つである一般社団法人日本音楽出版社協会の専務理事を務める谷口元氏が音楽著作権と環境の変化と題して、講義を行った。

講義ではまず、音楽出版社の役割について現状の著作権を取り巻く環境を踏まえて詳細に説明を行った。著作者から著作権（財産権）を譲ってもらいマネタイズを行うのが、音楽出版社であり、ビジネス的には音楽著作権は文化芸術に経済的価値を与えるものと定義した。また、著作隣接権にも触れ、同一楽曲・別音源の曲を例に挙げ解りやすく説明された。著作権産業については、JASRACについても触れ、権利者と使用者の一括窓口であると話した。JASRACは支分権ごとに管理され、徴収額の構成比からは、レコード産業が右肩下がりであることがわかる。その反面、Spotify 等のラジオ型ストリーミングサービスを含む放送による収入は増えており、時代の最先端の音楽のあり方になるのではないかと言及した。

音楽の楽しみ方が近年変化してきており、それに伴い音楽の届け方も変わってくる。音楽出版社として、音楽ファンへ直接アプローチする方法を模索しており、理想的な方法の一つとして、インターネットを介した国際マーケットを挙げた。日本の音楽産業は、権利者への還元が安すぎるため、インターネット上の音楽にあまり前向きではない。しかしながら、より権利者への還元が可能なプラットフォームと手を組み、パッケージ重視となっていたヒットの尺度を変えることで、日本発の世界的なヒットが生まれる可能性があると言及した。音楽の届け方が変化することは、単価の変化、レコーディング手法の低廉化、プラットフォームの変化によるアーティストプロモーション手法の変化などが生じる。

今後の新たな市場の開拓として、インターネットと国際流通が鍵となってくる。音楽出版社協会の事業の中の音楽産業の国際化を取り上げ、2010 年の知的財産推進計画による、日本音楽の海外輸出について言及した。録音音源市場については、日本よりも大きい市場を持つのはアメリカしかないが、録音音源以外において世界への進出が望まれる。クールジャパンにより日本文化産業の輸出が推進されている現在、俳優・マンガなど世界で評価されているコンテンツと組み、海外進出を図るとし、講義を終えた。

